

第1回指導者育成研修

4月30日に第1回指導者育成研修を開催しました。
49名の受講生には、事前課題でオンデマンド学習を行って研修に参加してもらいました。

-目標-

- 新人看護職員研修制度について述べるができる
- 当院の教育体制について述べるができる
- 実地指導者としての役割を述べるができる
- 看護実践能力到達度評価表、社会人基礎力の評価の目的・活用方法を述べるができる
- 実地指導者としての不安を表出できる
- 不安の原因について考え、解決策を見出すことができる



講師：三浦看護師長

実地指導者の心構えを修得しよう♡



柴田久美副看護師長

事前課題

“共に学び、共に育つ”をテーマに当院での新人看護職員育成の基礎知識を学びました



事前課題の振り返り



OFF-JTとOJTの連動！

集合研修（OFF-JT）では“わかる”までですが、職場内教育（OJT）で知識を深め、指導・実践を重ねて“実践できる！”につなげる必要があり、部署と連携した教育が重要になってきます！

グループワーク①

看護実践能力到達度で到達できていない項目を到達できるように指導者としてどんな工夫が必要かな？

【工夫や対応内容（一部抜粋）】

- 「ケア可能な患者の受け持ちを調整する」
- 「未到達の項目を可視化して他のスタッフとも共有する」
- 「指導者から声をかける」
- 「看護補助者にも協力を得る」



グループワーク②

今困っている事・不安なことをみんなで共有して、解決策を考える！

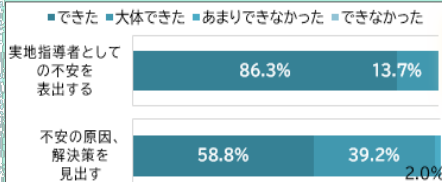
【困っている事・不安なこと（一部抜粋）】

- ・分からない事や困っている事をどうやって聞き出せばよいかわからない
→答えたことを否定せずに話しやすい雰囲気を作る。ポジティブフィードバックをする
- ・教え方が人によって違う
→院内マニュアルの確認の徹底、指導は根拠を持って指導する
- ・新人がどこまで1人でできるのかわからない
→7項目、到達度評価を必ず月末に行う
指導者同士・教育担当とも情報共有する
疑問形で確認する
- ・挨拶などの接遇面をしっかりと指導できていない
→優しく接遇は注意する
- ・どうしても指導が後回しになり、フォローができてくか不安になる
→1人で解決しようとせず周りに助けを求める



部署の皆様へ

本研修受講者の9割が指導者経験が無いとの回答でした。経験年数も3年目～20年以上と幅はありますが、アンケートでは同じ指導者としての悩みや不安を表出できたとの回答結果でした。



今後とも、新人育成と共に部署での指導者へのフォローもよろしくお願いいたします。



指導者の皆様へ

新人さんの自立に向け、指導者の皆さんの悩みや不安から、新人への熱い思いを垣間見ることができました。たくさんの愛情あふれる意見を考え、共有することで指導者同士の情報交換にもなりました。

指導者さんも伸びしろマーーーーーンサイズ★